

ICT活用への道

タブレットをこうして活用しています！第1弾

本格的にタブレットの活用が始まった令和3年度、廿日市市立小・中学校でどのように活用されているか、ご紹介していきます。

6月号は「阿品台東小学校」です。先日、4年生の算数の授業を参観しました。

教材は、「一億をこえる数」です。授業の導入から、一人一人のタブレットへ課題が表示されています。先生の問いかけに対して、子どもたちはタブレットに表示された問題を読み思考していきます。授業支援クラウド「ロイロノート・スクール」を使っているため、問題を解き終わると子どもたちは、

阿品台東小学校



📌朝のタブレットタイム



短時間でも
日々の積み重ね

↓漢字の筆順タッチ



↓キーボー島
アドベンチャー



提出箱へ課題を保存していきます。提出箱に入っている回答は一覧で確認できるので、クラスのみんなの回答を共有し、学び合うことができます。**45分の授業が「あっという間」**です。「考える」「説明する」「考える」、子どもたちも学ぶ姿勢が止まりません。子どもたちの「主体的な姿」を生み出したのは、先生の発問とタブレットでした。**算数の授業**

理科の授業 写真で記録！



操作に困ったら助け合う

